



近現代文学（方法論）講義

読者論

1

作家論への疑問

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

①、作家の残した文章（日記等）
作家は日記が公開される可能性を知っている
そんな日記に本当のことを書くか？

②、作家の親族や知人の証言
人の記憶ってそんなに正確か？
同じ出来事が人によって記憶が違っていることない？

④、作家の原稿の校正過程
過程から結果ってわかるか？

⑤、作家の生きていた時代・場所・環境
人って時代に順応する場合もあるし逆の場合もあるよ

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

2

各国で反作家論が生まれる

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014



ドイツ
読者論（受容理論）
ヤウス・イーザー など

ロシア 話形論・構造主義
（R・ストロース R・ヤコブソン など）



イギリス
新批評（ニュー・クリティック）



従来の作家論

フランス
ナラトロジー（ジュネット など）
テクスト論（R・バルト など）



日本
作品論（三好行雄 など）



Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

3

読者論の文学観

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

意図



作者

作品



作品

作品だけでは
未読！ 行動



読者

作品と読者が作品を完成させる！

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

4

読者論の敵

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

1、作者がテクストを生産する（作事論）
作者より、読者がいなければ、意味がない記号が物質

2、作品は完全に自立している（ニュークリティック）
作品は、記号だから「自立」してはいない！

作品は読者がいてはじめて完成する！＝読者論

読者がいない

作品

読者が評価しない

後々の読者が評価しない

→

ただの物質であり、ただの記号

→

忘れられてゆく

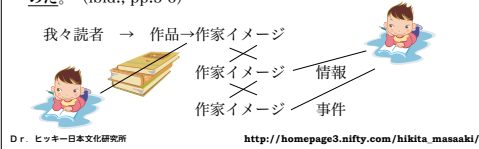
Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

5

想定された作者＝含意され た作者

ひっきー
日本文化研究所
2014

文学的な意味や物語のインパクトを理解するのに必要なことは全
て、含意された作者を確定すれば手に入るのだという前提。そこ
により重要性がある。それゆえ、匿名の作品を理解することも可
能になる。照じ詰めれば、たとえ実在の作者が知られていない場
合であれ、全ての物語にはそれぞれ一人の含意された作者がいる
のだ。 (ibid., pp.5-6)

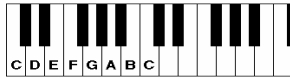


6

知ってますか？

ひっきー
日本文化研究所
2014

C#(ドのシャープ) とD♭(レのフラット) って
何が違うの？



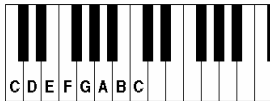
Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

7

知ってますか？ 2

ひっきー
日本文化研究所
2014

CからCまでの間の音は何で12個なの？

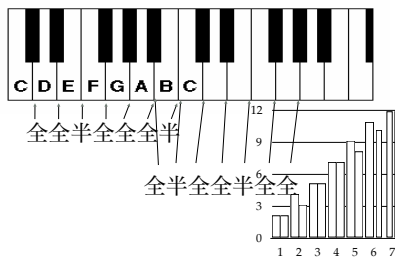


Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

8

「単調」「長調」以外 の調って？

ひっきー
日本文化研究所
2014



Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

9

「楽譜」は音楽を記録・ 再現する？

ひっきー
日本文化研究所
2014

作曲家 スペインc r インプレc r



一致する？ 演奏者

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

10

空所 理論

ひきき
日本文化研究所
2014

- 1、作品には空白がある（未完成である）
- 2、空所を補完することが、読書行為である
- 3、空所を埋めないと、作品は完成しない

（例） 楽譜とは、作品

楽譜は、演奏される人の技術で完成

D r. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

11

「読者の重視」が引き起こす難問

ひきき
日本文化研究所
2014

作家 → 作家論



→作家という起源の危うさ →反作家論



作品→ニュークリティック→もっと精度を（構造主義）へ



読者→読者論→

様々な読者という問題

D r. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

12

空よみ と 道よみ

ひきき
日本文化研究所
2014

タローは、大根が好きなのではない。

つまりは嫌い → 空よみ → 構造主義へ
（全体から意味を把握）



好き という情報

→ 前の情報が否定される という経験



これが読者論の本質（経験を重視）

D r. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

13

読者論の二つのパターン

ひきき
日本文化研究所
2014

①読者を上空写真的に把握するやり方

空読み

読者論・読者反応論

②読者行為そのものを記述しようとするやり方

道読み

読書行為論

D r. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

14

「期待の地平」理論 （読書行為論的）

ひきき
日本文化研究所
2014

1、読書中の期待の地平

①無数の期待の地平 から 限定された地平 へ

②読者の期待の地平 葛藤 作品の地平

③両者の融合 による 読者の期待の地平の拡大



D r. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

15

「期待の地平」理論
(読者反応論的)



2、作品への期待の地平の総体

退屈な作品 サブカルチャー (娯楽) メインカルチャー

作品 作品 作品

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

16

読者の抽象化



具体的な読者は多種多様

→ 最大公約数を考える必要がある

1、理想的な読者
2、素養のある読者
3、教養のある読者

}

どれも、現実には
存在しない抽象的読者

1 + 2 + 3 = 「解釈共同体」という仮説概念

ないと読書論を構築できない

でも、精確な把握は不可能

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

17

想定された読者と
想定された作者



作者の否定

1、想定された作者 → 現実の読者の自己像の反映・分身

読者の捏造

現実の作者とは異なる仮設的存在

代わりに読者をたてるが…

2、想定された読者 → 読者論が生み出した読者

歴史や社会に規定された観念的存在

↓ ↓

多くの現実の読者を抑圧 (女性・人種・民族・階級など)

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

18

読者行為論 1
作者と読者の対話



1、作者 と 読者 の共通習慣

共通習慣をもつ読者

共通習慣をもたない読者

2、双方に受け入れられた手続き

特にジャンルに関する知識

3、虚構行為に参加する意志

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

19

読者行為論 2
遠近法 (レパートリー) = 価値決定 理論



読書行為中の読者の頭の中では…

常に以下のことがおこっている

1、語り手
2、登場人物
3、筋
4、読者の創造 (想像)

}

前景

背景

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

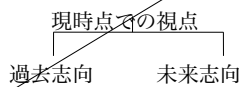
20

読者行為論 3 さまよう視点 理論

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

さまよう視点＝読者の意味の把握過程

未来志向 過去志向 の 弁証法



Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

21

疋田の考え

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

読者論は、具体的な読者を想定しながら考えるしかない

しかし、それはある読者の抑圧につながるかも…

また少数派の読者も抑圧するかも…

想定した読者を（無理ながらも）出来るだけ厳密に調べ
挙げて考えてゆくことが大切。

読者論とは、調べ系の学問である。

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

22

参考文献（読書行為論）

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014



S・フィッシュ 『このクラスにテキスト
はありますか 解釈共同体の権威』

W. イーザー著

『行為としての読書』



Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

23

参考文献（実体的な読書論） 嶺重敏

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014



雑誌と読者の近代



モダン都市の読書空間



読書空間の誕生

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

24

参考文献（実体的な読書論）

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014



高田里恵子

『文学部をめぐる病』

前田愛

『近代読者の成立』



Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

25

読者論の実践

Dr. 七ヶ一
日本文化研究所
2014

少年漫画雜誌 盛衰史

1970～1995まで

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

26

方法

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

雑誌の購買数の推移と連載漫画を検討し、それを社会的な動向と結びつけて考える

- ① 音羽グループ 一橋グループ の戦い
- ② 手塚治虫をめぐる攻防
- ③ 貸本業者漫画家の発見 と プロデュース性
- ④ オイルショック
- ⑤ 不景気と競争性の採用
- ⑥ ラブコメの発見
- ⑦ 好景気と競争性

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

27

[illegible]